

守谷なくして県政なし



# 小川一成の県政報告

発行 小川一成  
〒302-0125  
守谷市高野646  
TEL.0297-48-1064

守谷大好き、自然大好きの小川一成が皆様の声を県政に届けます。

## 「犬猫殺処分ゼロ」茨城県は本気です

2月末から第1回県議会定例会が開会され、知事から県政運営に関する所信表明がありました。その中で動物愛護についても「犬猫殺処分ゼロ」を目指すとして明確に宣言。新年度の予算額3,420万円が計上されました。これは大きな一歩です。

自民党政調会の中で「犬猫殺処分ゼロ」を目指すプロジェクトチームを立ち上げ、1年半の時間をかけて関係団体の意見を聞きながら昨年の12月議会で我々の手で条例を制定した結果、新年度の予算処置になったものです。

私が3年前の代表質問でもこの問題を取り上げ、動物に優しくなければ人にも優しくなれない。「殺処分ワーストワンの茨城県であってはならない」と、問題提起をいたしました。多くの皆さんのお力を借りてスタートラインにつくことができました。これから真価が問われます。

※昨年、いばらき自民党動物愛護プロジェクトチームが犬猫殺処分ゼロに向けてのワークショップを行いました。県内各地から愛護団体の方々に参加していただいたワークショップです。

守谷からはWamaさんが参加しました。いばらき自民党は本気で殺処分ゼロに向けて取り組みました。この地道な活動が、この3月予算に大きく影響したものだと思います。

そして…当初予算に3,420万円、さらに今回の増額補正で3,000万円を加え6,420万円の予算規模になりました。

我々も、茨城県も本気です。



NPO団体とのワークショップ

## パナマ大使とタケノコ掘り

4月初旬パナマ大使から招待を受け、パナマの象徴的なアートとして世界中に知られるようになった「モラ」の研究家であるダイアナ氏の著書発表会にお招き頂きました。出版記念カクテルパーティーも催され、県の代表として出席いたしました。



大使ご夫妻

大使には昨年12月に守谷市国際交流協会主催の「大使講演会」にご夫妻で守谷へ来ていただき大いに交流を深め、それが縁で今回の御案内をいただいたと思います。

さらに「大使講演会」の際に、季節になったらタケノコ掘りと野外パーティーをやろうと約束をしていました。

※4月23日に実現。パナマ大使ご夫妻とMIFAのメンバーで、母屋の下にある竹山でタケノコ掘りをいたしました。ご夫妻にとっては初めての体験であり、童心に帰って楽しんでいました。

タケノコ掘りで汗を流した後は、皆さん腕自慢のものをもち寄り野外パーティーです。最高のお天気と気の置けない仲間たちとの時間は至福のひと時でした。

大使ご夫妻も心から楽しまれた様で、来年もやろうということになりました。



タケノコ掘りと野外パーティー

## ラオスの人材育成



茨城に招聘した2期生のメンバーです

青年海外協力隊の関係で、初めてラオスを訪問したのは20年前です。その後ルアンプラバンにあるCCC（子供教育文化センター）から子供達を招聘したのは、H.13年の事です。

以来、この20年の間に2回にわたって25名の高校生を茨城県に招聘し、来日中は茨城県庁や県内各地を訪問して視野を広げ、今では立派な社会人として、多くはルアンで活躍しています。大学の数学の先生、銀行員、建築デザイナー、商工会議所などで働いており、中でも極めつきは、日本人観光客のガイドになったチャンマニーです。我々が訪問するたびに彼らがかけて来てくれ、ラオスで困る事は何もありませんでした。

20年に及ぶこの事業を、今後も人材育成の一環として続けていきたいと思っています。

## 実現 ひがし野に「ゾーン30」設置

守谷市ひがしの地区にお住まいの方から昨年秋頃「ゾーン30」について相談を受けました。最近とくに住宅地への狭い道路に大型車両などの通過車両が入り込み、住民の生活や通学児童生徒の安全確保が危険に



さらされているので「何とかならないでしょうか?」との相談です。

早速管轄の取手警察署に依頼者と共に出向き要望を伝えました。年明け早々に「ゾーン30」の設定がなされました。取手警察の素早い対応に感謝します。

## かわいい一日警察署長さん

4月6日新入生の一日警察署長を取手警察署で行いました。今年で32回の実施で延べ256名の子供達が一歩警察署長を務めてくれました。

子供達は取手警察署でセレモニーを行なった後にパトカーのお巡りさんに訓示し、その後、取手、藤代、守谷、利根の役所にパトカーで出向き交通安全を呼びかけました。

県としては今後も子供達の交通安全に力を入れ、地元警察署と協力して事故防止に努めていきます。



## 長崎県議会にあって、茨城県議会にないもの

長崎県議会にて田中議長さんを表敬訪問し意見交換をいたしました。田中議長さんとお会いするのは昨年の10月に茨城県で「全国都道府県議長会」の総会の席でお世話になった時以来です。

先般、守谷に来られた折に我が家にお立ち寄りいただいた近藤県議にもお世話になり実り多い訪問となりました。近藤先生は五島列島の上五島が選挙区で、議長室で意見交換をした際「離島・半島地域振興特別委員会」と言う聞きなれない委員会について興味深いお話をされていました。

「長崎県は約600の島々があり全国で一番島が多く、そのうち有人島は51島で14万人が生活を営んでいる。しかしながら医療問題、輸送コスト、人口減少や高齢化等が進み集落の維持が出来なくなりつつあり国家的・国民的役割を担う事が難しくなって来ている。特に国境周辺離島においては、そこに人が住んでいること自体が『現在の防人』として国家的役割を担っている」と話してくれました。



長崎県議会にて田中議長さんと

我々には想像も出来ない「国防」の問題まで長崎県議会では常に議論をしている事に、改めて平和ボケにどっぷり浸かった我が身を反省する旅でもありました。

我々には想像も出来ない「国防」の問題まで長崎県議会では常に議論をしている事に、改めて平和ボケにどっぷり浸かった我が身を反省する旅でもありました。

## 「守谷みつばち夢プロジェクト」



## この指と〜まれ!

「守谷みつばち夢プロジェクト」では一緒に楽しむ仲間を募集中です。

興味のある方は参加して下さい。  
連絡先 0297-48-1064 松原



## 実現 行政はスピードです

高野小学校への通学路が歩道もなく道幅も狭い上に、交通量が多く極めて危険です。

この危険箇所を解消するために現地を視察



改良後

し、竜ヶ崎工事事務所と打ち合わせ

をいたしました。歩道は新一年生が入学する前に、きれいに完成しました。

関係者の皆さんの素早い対応に感謝します。



改良前

## 石井国交大臣に御礼を申し上げます

昨年は茨城県議会議長として石井国交大臣に大変お世話になりました。何度も大臣室を訪れて茨城県からの意見書や要望書を快く受け取っていただき本当に頼もしい存在でした。



本県の悲願であったTXの東京駅乗り入れの問題や地下鉄8号線の本県への延伸も期待通りの答申を出していただいておりますので早期実現に向けてお願いしてまいりました。

## 動物愛護に使って下さい

暮れにボーイスカウト守谷第一団の子供達が集めた募金を、3月末に神達常総市長に届けました。15万円弱のお金ですが、子供達が寒い中で声を枯らして集めた浄財です。



常総市が洪水の被害を受けてから2年、その際に犬や猫も被害を受けました。今回は犬や猫の為の動物愛護に使って下さいと寄付の指定をいたし、市長との意見交換をいたしました。

## 小川一成のひとりごと

## 決して忘れない

阪神淡路大震災は22年前の出来事です。平成7年1月17日は県議になって最初の議会が召集された日であり、生涯忘れられません。

私はその日、県会議員になって最初の議会が召集され水戸に向かって常磐道を走らせていました。刻々と伝えられる被害状況に、私はいても立ってもいられずに震災後程なく、ザックに寝袋と水と食料を押し込み現地にボランティアとして参加いたしました。

現地に入って直ぐの仕事は兵庫県の日赤病院でのペットメイキングでした。その後、県庁の裏手にある諏訪山小学校の体育館に寝泊りをしてボランティアに入りました。日中は被害の状況を報告する為に、与えられた自転車で最も大きな被害を受けた長田地区の状況を調査に行きました。

当時は携帯電話等はなく、現場はいたる所に離れ離れになった家族や友人の安否を尋ねる貼り紙が貼られ、必死に情報を求めていました。この様な混乱の中でも多くの者が助け合い食料を分かち合って困難な状況に耐えていました。

私はこの時の体験から、その後の議員活動に大きな影響を受け、今も災害に強い茨城県を目指し活動しています。

## 茨城県議会議員 小川一成

〒302-0125 守谷市高野646  
TEL.0297-48-1064 E-mail issei@alpha.ocn.ne.jp

小川一成

検索

「小川一成のブログ」  
とても面白い!



配信中

趣味の養蜂

